

寒冷の候 日頃から福住校区学校運営協議会の活動にご理解、ご協力ありがとうございます。

さて、先日、第5回福住校区学校運営協議会（第3回小中一貫教育検討協議会）を開催させていただきました。この協議会をもって今年度の協議が終了いたしました。その際、これまでの話し合いについての概要を校区の皆様へお知らせすることが決まりましたので、ご報告させていただきます。

令和3年4月の小中一貫校教育スタートに向けて、天理市教育委員会・福住小学校・福住中学校で、小中一貫教育推進のための組織が設けられ、他の校区よりも1年早く学校運営協議会（準備会）を発足させ、学校運営について協議する運びとなりました。運営委員のメンバーは、地域や保護者の方々、小・中評議員様、小・中コーディネーター様、PTA代表様、校園長（小・中・こども園）等幅広い人材の中から、以前より学校運営協議会発足に向けて組織されていた「園小中連携協議会」で協議し、決定されました。また、奈良市富雄第三小中学校の元校長先生として勤務された経験を持つ吉田義和さんにアドバイザーとして、ご指導いただくことも決まりました。以下に、計5回開催された会議の概要を報告させていただきます。

福住校区学校運営協議会のご報告について

◆7月15日（月） 第1回 福住学校運営協議会準備会開催（於：福住公民館）

校長より学校運営協議会準備会発足の経緯、小中一貫教育検討協議会（以下、検討協議会）の役割について、教育長よりコミュニティースクールと小中一貫教育についての説明がありました。その後、質問や意見交換が行われる中で、責任ある発言をするためにも本協議会を「準備会」ではなく、「学校運営協議会」として活動していくことに決まりました。また、「区長会にも参加してもらいたい。」という意見が出され、区長会長さんもメンバーに加わっていただくことになりました。参加者からは、「学校は何をして欲しいのか。具体的に内容を提起してほしい。」「福住に学校を残していこうとすることは、ありがたい。」「福住の活性化に積極的に参画していきたい。」などのご意見をいただきました。次回から、検討協議会として、この学校運営協議会を機能させていくことを確認し閉会となりました。

◆8月18日（日） 第2回福住校区学校運営協議会（於：福住小学校）

「検討協議会」は、「天理市教育委員会」と「福住校区学校運営協議会」とが協働して推進し、当面「育てるべき子ども像」を協議の柱にして運営していくことになりました。委員の方からは、「施設面において、今の教育環境を維持してほしい。」「今後の更なる少子高齢化も踏まえ、将来、故郷を担ってくれる子どもを育ててほしい。」「中学校へ行ったら、こんなことができるようになるという特色ある学校づくりをしてほしい。」などの意見が出されました。

◆10月18日（金） 第3回福住校区学校運営協議会（於：福住小学校）

育てるべき子ども像は、「世界に目を向ける」「自立する」「共に生きる」の3つを柱としていく方向で決まりました。今後、簡潔にわかりやすく文章化し、整理をしていくこととなりました。また、校訓・校歌・校旗校章・標準服についても話し合いました。現在の小学校と中学校は、廃校になるわけではなく、正式な学校名は「天理市立福住小学校」「天理市立福住中学校」のままであるため、基本的には現状のままで進めてはどうかということになりました。小学校と中学校を合わせた学校の通称名については、様々な議論の末、検討協議会としては、「福住小中学校」という意見にまとまりました。しかし、これについては地域の方々のご意見も伺い、継続して協議を重ねていくことになりました。そこで、区長会長さんの元へ出向きその旨を説明し、地域のご意見を聞いていただくようお願いいたしました。さらに、小・中学校の保護者にも経過を説明する機会をを11月に実施することも決まりました。

◆11月15日（金） 第4回福住校区学校運営協議会（於：福住小学校）

前回話し合った「育てるべき子ども像」について皆さんより再度意見交換をしました。「基礎・基本をしっかりしていけないといけない」「知・徳・体など不易の部分盛り込む必要がある」「もっとわかりやすい言葉にするべきである」「福住の子どもたちにとって世界に目を向けることがそんなに重要

なのか」「今回訂正された文章は、内容がよく分かるようになった」等、たくさんの意見がだされました。今後も、継続して協議していくことになりました。部活動については、現在は卓球部と陸上部の二つがあるが、一貫に向けて検討が進んでいないことから、良い案があれば考えておいていただき、今後一年かけて話し合っていくことになりました。PTAの組織については、小中両PTAでタイムテーブルに従って検討していくことを確認しました。その他、前回質問のあった小規模特認校について校長より説明があり、次回12月の会議が終わった時点で、今までの会議の経過を文章化し、区長会を通じて福住校区に全戸配布することが決定されました。

◆12月13日（金） 第5回福住校区学校運営協議会（於：福住小学校）

前回意見を出し合った「育てるべき子ども像」について以下のように再確認されました。

○「世界に目を向ける」では、

- ・社会の一員であるということを実感し、世界で起きていることに関わろうとする子ども
- ・英語、ICTをツールとして使用し、世界の人と関わろうとする子ども

○「自立する」では、

- ・「自分の学びに対してオーナーシップ（当事者意識）を持ち、自分自身で責任をもって主体的に取り組む子ども
- ・集団の中の誰もが自分らしく生活できるように、責任をもって意思決定に参加しようとする子ども。

○「共に生きる」では、

- ・年齢も考え方も違う集団の中で、協働し、互いに助け合いながら成長する子ども
- ・ふるさとを愛し、身近な自然・文化・地域の人たちとの関わり、実社会と地続きの学習環境で学ぼうとする子ども

上記の地域の人たちが願う「育てるべき子ども像」をもとに、毎年、学校がグラウンドデザインを作成（来年度は、小中それぞれで）し、学校運営を進めていくことになりました。前回話し合いに出ていた「知・徳・体」や「基礎基本の学習」については、毎年のグラウンドデザインの中に盛り込んでいくことを確認しました。また、「登下校の方法」については、基本的に現行通りで進めていこうと考えていること、「中学校の校時」については、特認校制度を踏まえバスの時間に合わせたものにしていくことなどが、校長より説明されました。参加された委員の方の意見として、「こすもす分団の登下校時の見守り活動について、人数もぎりぎりのところでやっている。来年度は、人数が10名以上増えるとのことだが、危険な箇所も多く、安全面などを配慮すると、現在の2人体制から3人体制に組み替える必要がある。そのためにも、ボランティアの人数を増やすための方策を実施してほしい。」「以前話題にあがっていたコミュニティバスについても検討してほしい。」「天理駅からのバスも、山辺高校の生徒さんもたくさん乗っているのに、子どもたちは全員バスに乗れるのか。」「山田の中学生は自転車通学だが、帰りが一人になったり、路面が凍結したりすることが不安である。その時だけでも中学生もバスに乗れるようにならないのか。」などの意見が出されました。これらの意見については、校長から市教委へ報告することを確認しました。最後に、アドバイザーの吉田先生より「ふるさとを愛し、地元で足下をしっかりと固め、福住に残って未来を切り拓いていく子どもの育成を大事にしてほしい。」とまとめていただき、閉会となりました。

以上